

# 入院患者様に対する 口腔ケアの取り組み

当院では、ご希望の患者様に対し  
横浜市青葉区歯科医師会の歯科医師・歯科衛生士による  
「口腔ケア」および「訪問歯科診療」を行っています。

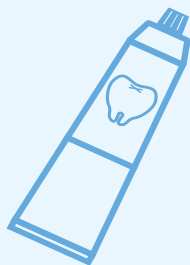
## 口腔ケアを行うメリット



- ① 口腔内細菌の減少・唾液分泌促進による“口腔環境の改善”
- ② 口腔周囲筋の賦活化による“摂食嚥下機能の維持亢進”等が見込まれます。



いつまでも美味しく食事を召し上がって頂くため、  
また、口腔衛生状況の影響する全身疾患予防のためにも、  
口腔衛生管理は重要です。



入院患者様には歯科検診を受け、必要に応じ、  
訪問歯科診療や「口腔ケア」を受けて頂きますこと  
を、お勧めしています。



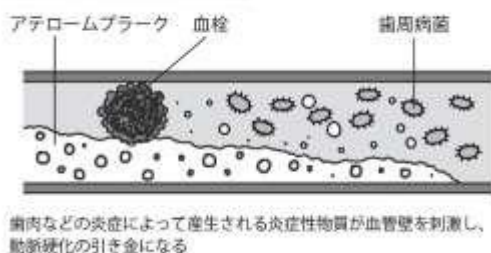
安心

“お口の健康”についてのご質問・お問い合わせは  
横浜市青葉区歯科医師会 青葉区在宅歯科医療地域連携室の  
相談窓口 070-1540-6296 までご連絡ください。

# 心筋梗塞や脳梗塞患者の多くは歯周病にかかっている 血管に悪さをする

AERA dot. 2020/06/25 17:00

歯周病は糖尿病、心筋梗塞、認知症など、全身の健康とも大きくかかわっていることが分かってきています。そのキーワードは歯周病による「慢性炎症」と考えられています。日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会による公式本『続・日本人はこうして歯を失っていく』では、歯周病が全身の健康に悪影響に及ぼすメカニズムを解説しています。ここでは「心筋梗塞・脳梗塞」「誤嚥性肺炎」を抜粋して届けます。



\* \* \*

心筋梗塞と脳梗塞は血管の病気の代表です。特に脳梗塞は命が助かって、麻痺などの後遺症が残るケースが多く、中高年には要注意といえる病気です。

1000人以上を対象におこなわれた研究で、重度の歯周病にかかっている人はそうでない人に比べ、脳梗塞や心筋梗塞などの循環器疾患の発生率が1.5~2.8倍も高いことが明らかになっています。

こうした循環器疾患の引き金になるのが動脈硬化です。動脈硬化とは血管の内側にコレステロールなどが沈着して血管が狭く硬くなり、血液の流れが悪くなった状態をいいます。歯周病と動脈硬化の研究については、動脈硬化を起こした血管内壁から歯周病菌が見つかったという報告が最初です。これまで循環器疾患にかかりやすい原因として、食生活や運動不足、ストレス、喫煙などの生活習慣が挙げられてきましたが、この報告以来、別の要因として歯周病が注目されるようになったのです。

その後の多くの研究で、動脈硬化の病変から悪玉三兄弟のP.g菌とT.d菌が高い頻度で見つかり、特にP.g菌が病気と関連が深いと考えられています。

また、こうした患者さんでは、血中の炎症性物質のIL-6やTNF- $\alpha$ など「炎症性サイトカイン」の値が高いことが報告されています。同じく高感度CRP(循環器疾患のマーカーであり、炎症の指標となる)の数値が高いことも関連すると考えられています。

歯周病が循環器疾患を引き起こすメカニズムとしては、歯周病菌や歯肉の炎症によって産生される複数の炎症性物質が血管壁を刺激し、動脈硬化を誘導する物質を作り出すことが考えられます。その結果、血管内にアテロームプラーク(粥状の脂肪性沈着物)が発生し、血液の通り道は細くなって動脈硬化が発生するというわけです。

当然ながら動脈硬化が心臓の冠動脈などの血管に発生し、血栓ができて詰まり血流が途絶えると心筋梗塞に、脳の血管が詰まると脳梗塞になります。動脈硬化もまた、無症状で進行していく病気であることから、予防・対策を心がける必要があります。

## ■ 誤嚥性肺炎

誤嚥性肺炎は、誤嚥にともない口の中の食物や唾液などが病原菌とともに気管内に入ることによって起こる肺炎です。高齢者の肺炎は死亡原因の上位であり、その多くが誤嚥性肺炎です。原因となる菌には、口の中の歯周病菌も含まれることがわかっています。

また、P.g 菌によって白血球から産生される炎症性物質は気管の粘膜を損傷させることで、これら肺炎の原因菌を付着、増殖させやすくすることがわかっています。一方で、歯周基本治療や口腔ケアは誤嚥性肺炎の予防に効果があります。全国 11 か所の特別養護老人ホームの入所者を対象にした調査で、2 年間にわたり口腔ケアを継続した群では肺炎の発症率が 11% (対照群では 19%) と、その効果が明らかになっています。

※『続・日本人はこうして歯を失っていく』より

《著者紹介》

日本歯周病学会

1958 年設立の学術団体。会員総数は 11,739 名 (2020 年 3 月)。会員は大学の歯周病学関連の臨床・基礎講座および開業医、歯科衛生士が主である。厚労省の承認した専門医・認定医、認定歯科衛生士制度を設け、2004 年度からは NPO 法人として、より公益性の高い活動をめざしている。

日本臨床歯周病学会

1983 年に「臨床歯周病談話会」としての発足。現在は、著名な歯周治療の臨床医をはじめ、大半の会員が臨床歯科医師、歯科衛生士からなるユニークな存在の学会。4,772 名 (2020 年 3 月) の会員を擁し、学術研修会の開催や学会誌の発行、市民フォーラムの開催などの活動をおこない、アジアの臨床歯周病学をリードする。